



MIRAI プログラム 平成28年度 結果概要

1. プログラム概要

(1) 対象地域

欧州，中央アジア・コーカサス地域

(2) 対象者

将来の活躍が期待され，対外発信力を有する大学生・大学院生150名

(3) 目的

日本の政治，社会，歴史及び外交に関する理解を深める機会を提供し，被招へい者による日本の魅力等の積極的な発信を促進する。

(4) 日程

夏期グループ： 9月 8日～15日（7泊8日）

冬期グループ： 12月15日～22日（7泊8日）

2. 被招へい者所属大学所在国（人数）

(1) 夏期グループ（70名）

アイスランド（1），アイルランド（2），アゼルバイジャン（1），
アルメニア（1），ウクライナ（2），ウズベキスタン（4），エストニア（1），
英国（5），オーストリア（1），オランダ（2），カザフスタン（4），
キルギス（3），ギリシャ（1），クロアチア（1），ジョージア（1），
スイス（3），スウェーデン（2），スロバキア（1），スロベニア（1）
セルビア（1），タジキスタン（3），チェコ（2），デンマーク（2），
トルクメニスタン（3），ノルウェー（2），ハンガリー（2），フィンランド（2），
ブルガリア（1），ベラルーシ（1），ベルギー（2），ポーランド（3），
ボスニア・ヘルツェゴビナ（1），ポルトガル（2），
マケドニア（1），モルドバ（1），ラトビア（1），リトアニア（1），
ルーマニア（1），ルクセンブルグ（1）

(2) 冬期グループ（80名）

アイルランド（1），イタリア（13），英国（14），オランダ（1），
コソボ（1），スペイン（10），チェコ（1），ドイツ（21），ノルウェー（1），
フランス（15），ブルガリア（1），ルーマニア（1）

3. 訪問地（両グループ共通）

東京都，広島県，京都府

4. 日程

（1）夏期グループ

<u>9月8日（木）</u>	本邦着
<u>9月9日（金）</u>	江戸東京博物館，森ビル六本木ヒルズ視察
<u>9月10日（土）</u>	宮島・厳島神社視察 広島平和記念公園，被爆者体験伝承講話， 平和記念資料館視察
<u>9月11日（日）</u>	京都御所，平等院鳳凰堂視察 宇治にてお点前体験
<u>9月12日（月）</u>	京セラ本社訪問，伏見稻荷大社視察
<u>9月13日（火）</u>	早稲田大学訪問 (講義聴講，大学生・大学院生との意見交換・交流)
<u>9月14日（水）</u>	外務省講義，成果報告会
<u>9月15日（木）</u>	本邦発

（2）冬期グループ

<u>12月15日（木）</u>	本邦着
<u>12月16日（金）</u>	江戸東京博物館，外務省講義 森ビル六本木ヒルズ視察
<u>12月17日（土）</u>	早稲田大学訪問 (講義聴講，大学生・大学院生との意見交換・交流)
<u>12月18日（日）</u>	広島平和記念公園，被爆者体験伝承講話， 平和記念資料館視察
<u>12月19日（月）</u>	京都大学訪問 (講義聴講，大学生・大学院生との意見交換・交流)
<u>12月20日（火）</u>	清水寺，金閣寺視察 裏千家今日庵訪問・お点前体験
<u>12月21日（水）</u>	外務省講義，成果報告会
<u>12月22日（木）</u>	本邦発

5. 写真



早稲田大学訪問
(日本人学生との議論)



外務省講義
(職員との質疑応答)



京都大学訪問 (日本の学生との議論)



広島・被爆者による講話



広島・原爆ドーム視察



広島・宮島視察



京都・金閣寺視察



京都・裏千家今日庵
(お点前体験)



成果報告会
(滝沢大臣政務官を囲んで)

6. 参加者の感想

●スイスからの参加者（夏期グループ）

企業訪問では、日本の最先端技術を有する会社がどのような経緯で設立され、どのように高品質な製品が作られているかがわかりました。自分が日本で得た新たな経験を母国でできるだけ多く伝えたいと思います。

●ドイツからの参加者（冬期グループ）

様々な講義の中でも、特に京都大学では、世界の歴史や政治を見る新たな視点を与えてくれました。ドイツでは、国際政治における日本の役割についてあまり触れないため、本当に理解が深まりました。また、両国の社会や文化の相違点と類似点の双方について学びました。

●イタリアからの参加者（冬期グループ）

京都での茶道体験は、特別なおもてなしを体験する機会であると同時に、歴史や文化に対する造形を深めることもできました。また、広島視察のうち、特に、「被爆者」の方のお話を伺ったことは、今まで生きてきた中で最も心を揺さぶられる体験の一つでした。神社の視察では、神道の精神的価値とその美しさを学ぶことができました。

●ブルガリアからの参加者（夏期グループ）

日本の名所旧跡を訪れたり、伝統文化に触れたりする中で、日本人が勤勉さと意志の力で、美や調和を実現させようとする努力が伝わってきました。

●英国からの参加者（冬期グループ）

京都大学では、日本の歴史や法律制度に関する講義において、講師の方の率直な語り口が印象的でした。小グループの討論は大変興味深くかつ学術的であり、大変有意義な内容であったため、最も印象に残りました。

●フランスからの参加者（冬期グループ）

外務省の職員の方から講義を受けたことは大変貴重な機会だと思いました。自分の国で受ける教室での講義とは異なり、日々変化する国際情勢を実際に扱っている方々の視点からお話を伺うことにより、視野が大きく広がりました。

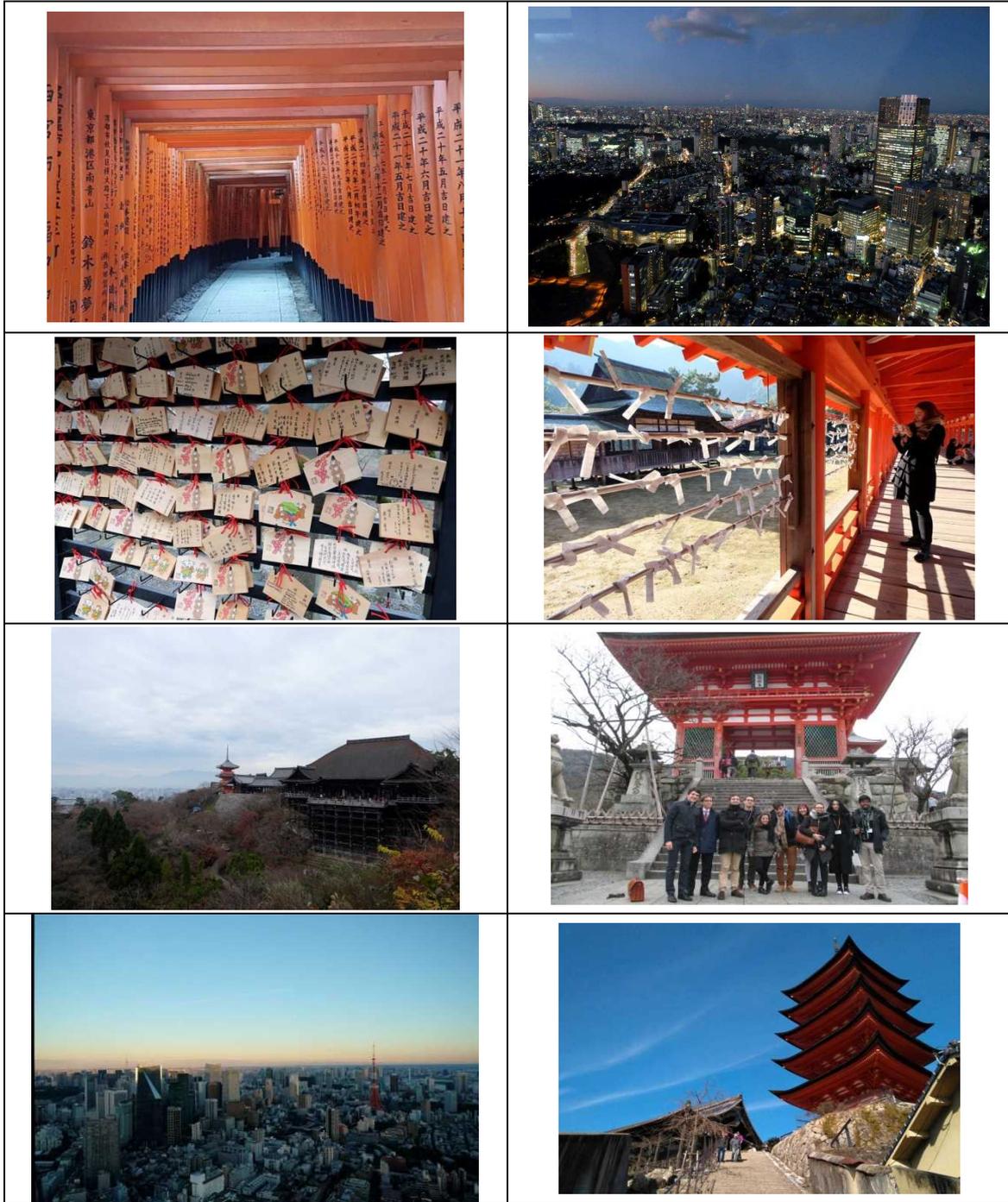
●ポーランドからの参加者（夏期グループ）

早稲田大学では、講義に触発され、知識を高めることができました。日 EU 間の重要な論点について、欧州と日本の学生が議論する素晴らしい機会でした。

このほかに、中央アジア・コーカサス地域の参加者から、有意義な訪日であった旨感想が寄せられています。

7. 参加者の SNS での発信内容





プログラム参加中の様子や参加者の声は SNS を使って広く発信されています。
Facebook : <http://www.facebook.com/MIRAIprogramme>
Twitter, Facebook ハッシュタグ #mirai2016